

第 18 回分子科学研究所技術研究会参加報告

機械・環境建設系技術班 十河 基介

主 催：分子科学研究所
出張期間：平成 24 年 3 月 8 日（木）～3 月 9 日（金）
出張先：自然科学研究機構 岡崎コンファレンスセンター

1. はじめに

この研究会は、大学、高等専門学校及び大学共同利用機関等の技術者が、一同に会して日常業務で携わっている実験装置の開発、維持管理の話題から改善、改良の話題に及ぶ広範な技術的研究支援活動について発表を行い、日常業務から生まれた創意工夫、失敗談等も重視し、技術者の交流及び技術向上を図ることを目的と開催されています。今回、研究会に聴講参加したのでこのことについて報告する。

2. 報告事項

研究会へは全国から 252 名の参加があり、2 日間で口頭発表 61 件、ポスター発表 34 件の発表が行われた。報告者は参加できなかったが、2 日目の午後には計算科学研究センター、極端紫外光実験施設（UVSOR）、液化機などの施設見学が行われた。愛媛大学からは工学部等技術部から 1 名、医学部等技術部から 4 名が参加した。研究会を聴講するとともに、技術研究会の開催に関する 2 つの会議に参加し、平成 24 年度に愛媛大学において開催される総合技術研究会の準備状況等について報告した。また分子科学研究所の方々にご配慮いただき、開催のチラシの設置、情報交換会における開催案内を行った。

3. おわりに

報告者は今回初めて分子科学研究所技術研究会に参加した。今回は自分の専門分野に限らず、興味があった他分野の発表にも重点をおいて聴講した。いくつかの発表から得られた知見は、今後の業務に役立つものであり、非常に良い刺激となった。

また、平成 24 年度に愛媛大学において開催される総合技術研究会に関して他機関の多くの方と意見交換を行うことができたことは極めて有意義であった。

謝辞：本技術研究会の開催機関の皆様に感謝の意を表すとともに、参加に対してご配慮いただいた本学関係各位にお礼申し上げます。



写真－1 会場